

《 卒業生は今 》

— 漁業に就職して感じたこと —

漁業高等学園では、昭和 45 年の設立以来、昨年度までの卒業生は 887 名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.26 Iくん（平成 28 年 3 月卒・現 17 歳） 船びき網漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 甲板員として、操業時は網の出し入れ作業、魚艙（ぎょそう）からの氷出しをしている。
- * 水揚げの時は、漁獲物をトラックへ積み込む作業をしている（仲買の手伝い）。
- * 入港中は、破れた網の修理をしている。

Q. 大変なことは？

- * 風が悪く波が高いときは、作業が危険になる。
- * シラスの入ったボーラー（かご）が重く、魚艙（ぎょそう）に出し入れするのが大変である。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 休みが年間約 150 日と多い。
- * 船員との話しが楽しい。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 実習船「やいづ」での乗船実習が楽しかった。
- * カツオを釣ったときの達成感が良かった。
- * 沖縄での思い出が今も残っている。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープをたぐる作業が役立っている。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 身体を鍛えておくように。特に腰は使う。

（平成 28 年 5 月 30 日）